

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会助成事業
低年齢児童向け啓発教材づくり実証講座
(情報モラル「かるた・紙芝居」づくり)

実証講座取組報告



広島市電子メディア協議会

広島市電子メディア協議会 とは

- 広島市の取組の啓発活動を担う
- 認定された広島市電子メディア・インストラクターが集った団体
- 平成21年4月結成
- 現在会員は約130人
(平成30年4月現在)



子どもたちのために！ 子どもたちがつくる

情報モラル

「かるた・紙芝居」づくり



つくる子どもたちが



楽しみながら学ぶ

いちばん学ぶ！

遊びながら学ぶ



受講団体

【かるたづくり】

広島市立井口明神小学校PTA

広島市立瀬野川中学校

【紙芝居づくり】

クラーク記念国際高等学校広島キャンパス

大州中学校区ふれあい活動推進協議会

協力団体等

【かるた遊び】

広島市立井口明神小学校

広島市井口明神児童館

広島市立山本小学校

広島市立瀬野川中学校区内小学校・児童館

【紙芝居鑑賞】

広島市神崎保育園・広島市竹屋保育園

広島市本川保育園・広島市基町保育園

大州中学校区小学校・児童館・幼稚園等

誰のためにつくるのか！？

- かるたは
小学1～3年
想定

- 紙芝居は
4～6歳児
想定



情報モラルかるた

- 井口明神小PTAかるた
- 瀬野川中学校かるた



「情報モラル紙芝居」

- クラーク記念国際高等学校広島キャンパス
「たんじょうびプレゼント」
「3つのやくそく」
「ユウちゃんのおつかい」
- 大州中学校区ふれあい活動推進協議会
「カナナ坂46」

情報モラル紙芝居づくり



情報モラルかるたづくりプログラム概要

プログラムの概要

～作りながら学び、遊びながら学ぶ～

「情報モラルかるたづくり」

基本プログラムは、
中学生が小学生のために作る。
(作るのは、小学生高学年から
高校生・大学生、保護者など
大人でも良い)



1

「情報モラルかるた」の効果

かるた遊びをする中で
標語に触れ、リスク情報を知る。
標語に書かれてある言葉を
身近なものとして
認知し記憶する



2

「情報モラルかるた」の効果

かるたの言葉を意識し
リスクを事前に回避する態度が
行動として現れる



3

「情報モラルかるた」の効果

子どもが家庭で
リスクについて語ることで
保護者のリスクの認識の差を
埋めることができる



4

取り組む手順

- ア 情報モラルのお話し
- イ 標語をつくる
- ウ 標語を※頭の文字選択のために
推敲(読み札の完成)※しなくてもよい
- エ 解説をつくる
- オ 取り札の作成(イラストなど)
- カ 遊ぶ



5

かるたのリスクコミュニケーション

- かるた遊びで、作った中学生などがリードして遊ぶことで、身近なひやりとしたリスク情報(親や学校や警察も把握していない)を小学生に伝えることができる
- 小学生は、どうしたらよいかを身近な年齢からわかりやすい言葉で聞くことができる
- 小学生は、次は自分で教える立場になることを意識するようになる



6

情報モラル紙芝居づくりプログラム概要

「紙芝居づくり」の効果

- 問題点をまとめ、伝える
- 紙芝居を創る人が勉強になる
- 観る子どもたちが勉強になる



1

紙芝居づくりの手順

- 情報モラルの話
- テーマ・題材探し、決定
- 筋書(あらまし)
- 絵コンテとセリフ
- 紙芝居に仕上げる



2

テーマ・題材決定

- 対象を考える(幼児・小学生)
- 登場人物の会話中心にできるもの
- 演じることを頭に入れて、演じやすいストーリーになるもの



3

筋書(あらまし)を考える

- これまでの物語に準じてみる
「もみ饅太郎の鬼退治」=「桃太郎の鬼退治」
- 単純なストーリー
問題点を絞り込む(枝葉を最小限に抑える)
- 覚えやすいストーリー
セリフを少々間違えても大丈夫な内容
- 未完成編に・・・問題提起だけ
考えさせる・会場を巻き込む



4

絵コンテ&セリフ&仕上げ

- 絵で見て流れを検討する
- セリフは短く、簡単に
- 絵コンテから紙芝居台紙に描く
お試しは、はがきサイズ程度で描く
- セリフは裏面(1枚ずつの場合)
①絵面の裏に②・・・
最終絵面の裏に①のセリフ面



5

「紙芝居づくり」のポイント

- 寸劇風に・・・寸劇や絵本に多くの人に関れる・知れる
- 演者と聴衆・・・より身近な人たち
幼児・児童生徒・保護者・地域住民・先生
- 啓発者以外の方々が啓発役に



6

今後の課題1

- 情報モラルかるたづくりプログラム
その後小学校授業で1回
講座で大人がつくる1回、障がい者作業所で
予定
やはり困難は、カルタを作り上げ子供たちが
遊べるまでいかない
- 情報モラル紙芝居づくりプログラム
その後開催がない

助成を受けてよかったこと

- 「かるた」や「紙芝居」の現物を見せることができる
- 実証講座をやることができた
- イラストレーターを確保できた
(とくに、幼児などを描いてもらえる)
- イラストを多く確保できた

助成申請のポイント

- 大きな規模にしない
- 事務方を用意する
役所など助成金や補助金などに携わった方
- 申請事項はシンプルにする